

株主の皆様とのコミュニケーションツール

クラレ通信

第144期 2024年1-6月期 報告書

2024年1月1日～2024年6月30日 証券コード:3405

CONTENTS

- 01 | 株主の皆様へ・決算ハイライト
- 05 | クラレグループトピックス
- 06 | クラレのSustainability
- 09 | お知らせ
- 10 | 会社概要 / 株式情報
- 巻末 | ご案内

kuraray
Possible starts here

2024年度上半期について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年度上半期における世界経済は、欧州と中国の景気低迷が継続したものの、米国は堅調に推移し、全体としては緩やかな成長となりました。一方で、ロシア・ウクライナや中東情勢など地政学的な緊張がグローバルな経済活動のリスク要因になるなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境下において、当社グループでは多くの事業で販売数量を伸ばすことができ、また円安による増益効果もあったことなどから、売上高は前年同期比302億円増の4,112億円、営業利益は45億円増の455億円、経常利益は55億円増の440億円、親会社株主に帰属する中間純利益は86億円増の304億円と、上半期として売上高、各利益いずれも過去最高を更新しました。

2024年度通期業績見通しは、上半期の好調な業績を踏まえ、前回見通し(2024年5月14日公表)から上方修正し、売上高8,500億円、営業利益890億円、経常利益840億円、親会社株主に帰属する当期純利益550億円を見込んでいます。

当社グループでは、中期経営計画「PASSION 2026」に基づき、「経済的価値」「社会・環境価値」の2軸による事業評価と「市場成長性」を踏まえた、事業ポートフォリオの高度化を進めています*。当上半期においては、サーキュラーエコノ

ミーへの移行とともに食品包装用途での需要拡大が期待される〈エパール〉のシンガポール新プラント建設や、米国での産業用再生炭事業の買収などの将来への成長投資を決めた一方で、市場環境や事業のライフサイクルを踏まえ、MMAプラント生産能力の最適化や不織布事業の縮小、珪藻土・パーライト事業の譲渡などを決定しました。引き続き、メリハリを利かせた経営資源の投入により、よりサステナブルな事業構造に転換し、持続的な成長を目指していきます。

2024年度の株主還元は、中期経営計画「PASSION 2026」における株主還元方針「総還元性向35%以上、1株当たり年間配当金40円以上」のもと、足元の業績動向を踏まえ、中間配当金は期初予想比2円増額し、1株当たり27円とさせていただきます。期末配当予想についても、同じく2円増額の1株当たり27円に修正しており、1株当たり年間配当金(予想)は54円となる見込みです。なお、2024年5月14日の取締役会決議に基づき、取得株式数1,500万株、総額200億円を上限とした自己株式の取得を進めており、2024年度の総還元性向は68%程度となる見込みです。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※詳細はP6をご覧ください。

決算ハイライト

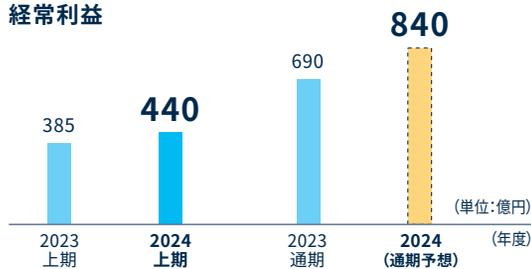




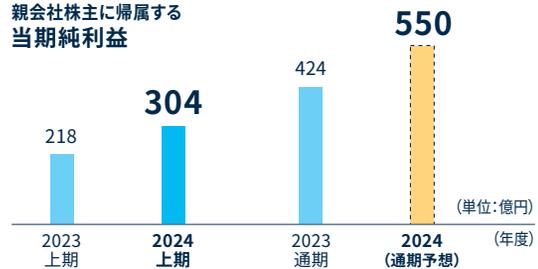
代表取締役社長 川原 仁

● 各種前提
 ・2023年度上期:米ドル135円、ユーロ146円、国産ナフサ68千円/kl
 ・2023年度 通期:米ドル141円、ユーロ152円、国産ナフサ68千円/kl
 ・2024年度上期:米ドル152円、ユーロ165円、国産ナフサ75千円/kl
 ・2024年度 通期:米ドル149円、ユーロ160円、国産ナフサ77千円/kl

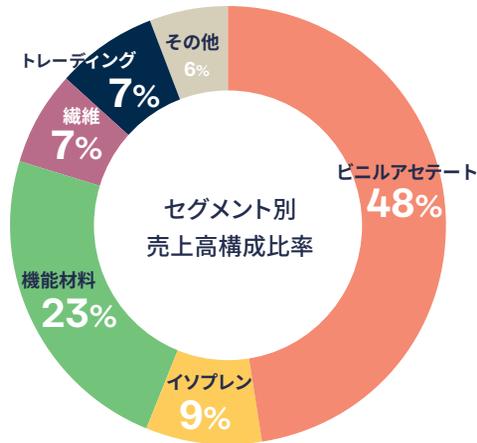
経常利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



セグメント別の概況



ビニルアセテート

	2023年度上期	2024年度上期	2023年度通期	2024年度通期(予想)
売上高	1,989	2,088	4,068	4,230
営業利益	402	439	863	850

ポパール樹脂は、欧州向け物流が混乱する中、グローバルな安定供給体制を背景に、販売数量が増加しました。

光学用ポパールフィルムは、流通在庫調整の影響が解消し、販売数量が増加しました。なお、テレビ用パネル大型化の需要に応えるため、第2四半期に倉敷事業所で新設備の稼働を開始しました。

高機能中間膜は、欧州の建築用途で景気低迷の影響が継続し、販売数量が減少しました。

水溶性ポパールフィルムは、欧州で長引く景気低迷の影響を受けているものの、流通在庫の調整が進み、販売数量は増加しました。

EVOH樹脂<エパール>は、自動車用途は堅調に推移しました。食品包装用途は昨年後半から続く需要の落ち込みの影響を受け、販売数量は減少したものの、第2四半期に入り各地域で回復基調となりました。

イソプレン

	2023年度上期	2024年度上期	2023年度通期	2024年度通期(予想)
売上高	318	375	657	775
営業利益	△27	△40	△109	△70

イソプレンケミカル・エラストマーは、自動車用途などを中心に需要が回復し、販売数量が増加しました。

耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、堅調な自動車用途に加え、電気・電子用途でも需要が回復し、販売数量が増加しました。

機能材料

	2023年度上期	2024年度上期	2023年度通期	2024年度通期(予想)
売上高	934	1,028	1,898	2,150
営業利益	57	65	103	150

メタクリルは、電気・電子用途を中心に需要の回復が見られ、販売数量が増加しました。

メディカルは、審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に引き続き好調に推移しました。

環境ソリューションは、欧州の産業用途では景気低迷による影響が見られたものの、北米の飲料水用途を中心に、活性炭の販売が堅調に推移しました。米国の活性炭新設備は第1四半期に稼働を開始しました。

繊維

	2023年度上期	2024年度上期	2023年度通期	2024年度通期(予想)
売上高	302	312	619	690
営業利益	7	7	18	35

人工皮革<クラリーノ>は、自動車用途やスポーツ用途で需要の回復が進み、販売数量が増加しました。

繊維資材は、自動車用途などで需要の回復が見られたものの、欧州の建材用途などが低調でした。

生活資材は、<クラフレックス><マジックテープ>ともに需要が低調でした。

トレーディング

	2023年度上期	2024年度上期	2023年度通期	2024年度通期(予想)
売上高	290	322	616	670
営業利益	23	27	52	57

繊維関連事業は、資材関連が苦戦しましたが、スポーツ衣料用途が順調に推移しました。

樹脂・化成品関連事業は、アジア市場を中心に販売が拡大しました。

その他

	2023年度上期	2024年度上期	2023年度通期	2024年度通期(予想)
売上高	229	250	457	465
営業利益	6	9	5	25

その他事業は増収増益となりました。

➡ 上記セグメントの業績とは別に、全社連結消去および調整がございます。

財務情報

連結損益計算書(要約)

(単位:億円)

	2024年度上期	2023年度上期
売上高	4,112	3,810
営業利益	455	410
経常利益	440	385
親会社株主に帰属する四半期純利益	304	218
➡各種前提		
円/米ドル	152	135
円/ユーロ	165	146
国産ナフサ価格(千円/kl)	75	68

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:億円)

	2024年度上期	2023年度上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	637	576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 358	△ 302
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 463	△ 505

海外売上高推移

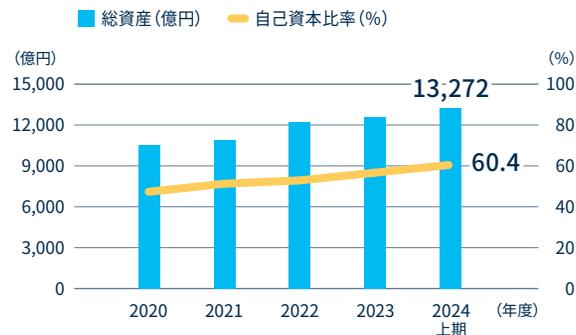


連結貸借対照表(要約)

(単位:億円)

	2024年6月末	2023年12月末
資産の部		
流動資産	5,865	5,517
固定資産	7,407	7,028
資産合計	13,272	12,545
負債の部		
流動負債	2,066	2,006
固定負債	3,011	3,178
負債合計	5,078	5,183
純資産の部		
株主資本	5,909	5,767
その他の包括利益累計額	2,105	1,375
その他	181	219
純資産合計	8,194	7,362
負債および純資産合計	13,272	12,545

総資産・自己資本比率



TOPICS

2024年3月

EVOH樹脂〈エバルル〉新プラント建設を決定

EVOH樹脂〈エバルル〉の生産プラントを新たにシンガポールに建設することを決定しました。近年、循環型経済（サーキュラーエコノミー）の観点から、リサイクルが可能な食品包装材料の需要が高まっています。その高いガスバリア性により食品の長期保存に貢献する〈エバルル〉は、食品包装の主材料であるポリオレフィンのリサイクルを妨げないバリア材として、今後世界的に需要の拡大が見込まれます。クラレグループの生産能力は、現在進めている欧米生産拠点での1万トンの増強と、今般決定したシンガポール新プラントの1万8,000トンを合わせ、2026年末に13万1,000トンに拡大する予定です。併せて、東南アジアにおける地域テクニカルサービスも拡充していきます。



Photo:〈エバルル〉と食品包装用途例

詳しくは右記QRよりご覧いただけます。

<https://pdf.irpocket.com/C3405/PTSX/D46R/O6kC.pdf>



2024年4月

クラレグループ人権方針を制定

クラレグループのグローバルな事業活動において、私たちが品格と敬意をもって全てのステークホルダーの人権を尊重するための基礎とするものとして、クラレグループ人権方針を制定しました。この方針に基づき、クラレグループは人権デュー・ディリジェンスを確実に実施し、自らの企業活動や取引関係を通じて全てのステークホルダーの人権を尊重するための取り組みを推進していきます。

詳しくは右記QRよりご覧いただけます。

<https://www.kuraray.co.jp/csr/humanrightspolicy>



2024年5月

耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉の耐プリスターグレードを開発



耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉は、耐熱性、耐薬品性、低吸水性、電気絶縁性、耐摩耗性などの特長により、スマートフォンやパソコンのコネクタなど電気・電子用途を中心に使用されています。今般、車載コネクタ向けにプリスター（加熱により成形品表面に生じる膨れ）発生率を大幅に低減した新たなグレードを開発しました。車載電装部品の生産性向上やコスト削減に寄与するとともに、安全・安心かつ高機能なモビリティの実現を支援します。

Photo:〈ジェネスタ〉耐プリスターグレード用途例

詳しくは右記QRよりご覧いただけます。

<https://www.kuraray.co.jp/news/2024/240508>



2024年6月

被膜強度および塗布感を向上させた1ステップ型ボンディング材〈クリアフィルユニバーサルボンド Quick 2〉を新発売



クラレノリタケデンタル株式会社は、歯科治療において、1液で歯質の脱灰、歯質への浸透・拡散、硬化を行う1ステップ型ボンディング材の新製品を発売しました。コンポジットレジン充填、レジンコア（直接法/間接法）、レジンセメントによる接着、象牙質レジンコーティングなど、臨床のさまざまな症例で使用可能な製品です。新たに歯質への浸透性に優れる技術の採用により、塗布後の待ち時間なしを実現。長時間開口が困難な小児・高齢者症例などでもスムーズな治療が行えます。

Photo:〈クリアフィル ユニバーサルボンド Quick 2〉

詳しくは右記QRよりご覧いただけます。

<https://www.kuraray.co.jp/news/2024/240614>



2024年6月

活性炭事業の成長機会をテーマに経営説明会を開催

活性炭は、一部について有害性が指摘され、飲料水などへの混入が問題となっている有機フッ素化合物（PFAS）を除去する有力な技術として注目を集めています。米国では2024年4月、米国環境保護庁（EPA）がPFASに関する飲料水規制を最終決定しました。説明会では、PFAS除去用途における活性炭のトータルソリューションプロバイダーとしてのクラレグループの強みと今後の成長展望について紹介しました。

詳しくは右記QRよりご覧いただけます。

<https://www.kuraray.co.jp/news/2024/240626>



クラレのSustainability サステナビリティ VOL.6

～自然環境と生活環境の向上を目指して～



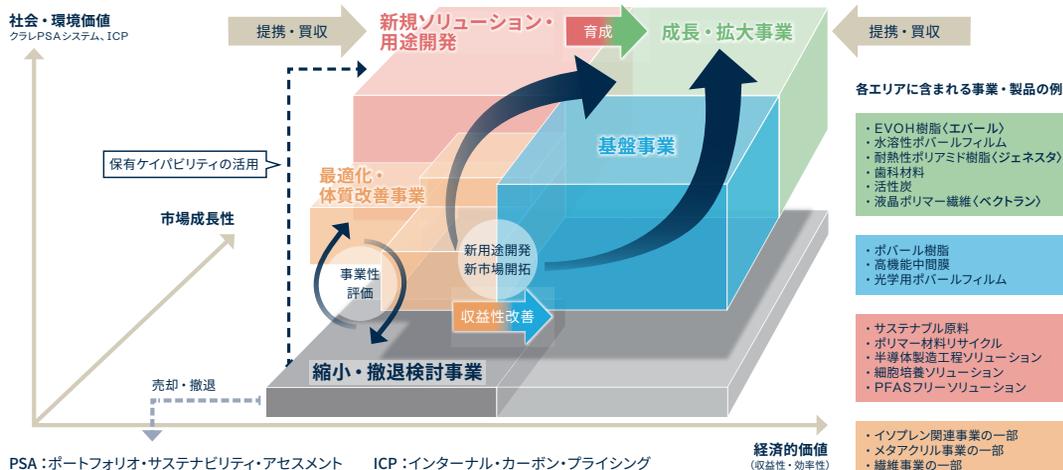
サステナビリティウェブサイトは右記QRよりご覧いただけます。
<https://www.kuraray.co.jp/csr>



当社はサステナビリティ長期ビジョンを策定し、サステナビリティを積極的に推進することを掲げています。このパートでは「事業ポートフォリオの高度化」の取り組みと自然環境の向上に貢献する製品の具体例として〈クラリーノ〉をご紹介します。

事業ポートフォリオの高度化

クラレグループは、持続的成長を遂げていくため、メガトレンドに沿って解決すべき社会的課題をターゲット領域として設定しています。「社会・環境価値」「経済的価値」の2軸で事業評価を行い、その高度化にあたっては「市場成長性」も考慮して社会的課題解決の要請に応じていきます。成長性の高い分野に重点的に資源配分し、強固な事業ポートフォリオの構築を目指すと同時に、環境や社会の変化に適応し、機会の創出やリスクへの適切な対応につなげていきます。



目指す姿

- 基盤事業、成長・拡大事業で創出されたキャッシュを、成長・拡大事業のさらなる発展および次世代の柱となる新規ソリューション・用途開発に投入します。
- 最適化・体質改善事業は体質改善計画、再構築計画を立案の上、収益性の改善に向けた施策を実行します。
- 市場環境や事業のライフサイクルを踏まえ、将来に向けて社会・環境価値および経済的価値の改善が見られない事業は縮小・撤退検討事業として、経営資源配分の最適化を図ります。
- クラレグループのありたい姿に照らし、「ベストオーナー」かどうかの観点から事業の継続保有を判断します。



キーパーソン
に聞く



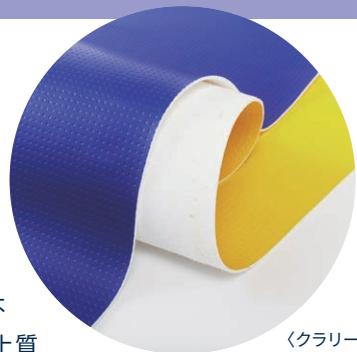
自然環境の向上に寄与する
クラレの製品

人工皮革〈クラリーノ〉

ハイエンドな品質と持続可能性を両立し、
自然環境の向上に貢献

〈クラリーノ〉は環境意識の高まりにより、環境配慮の特性が評価されて海外を中心として車両内装材などで需要が拡大しています。今回、環境配慮型製品である〈クラリーノ〉を展開する繊維カンパニーの佐野カンパニー長に、その特長や将来の展望について話を聞きました。

取締役・専務執行役員 繊維カンパニー長 佐野 義正



〈クラリーノ〉

●〈クラリーノ〉の特長について教えてください。

〈クラリーノ〉は1964年、クラレが世界で初めて事業化に成功した人工皮革です。天然皮革の構造と性能を、化学の力で再現しています。直径最小0.1ミクロンという髪の毛の約1000分の1のマイクロファイバーを使用した特殊不織布にポリウレタン樹脂を含浸したベース基布を用いることで、しなやかで上質な触感を実現しています。高級感がありながら機能性やメンテナンス性にも優れています。

●主な用途について教えてください。

天然皮革や合成皮革に比べ、軽くて丈夫な人工皮革〈クラリーノ〉は、ランドセルをはじめ、靴やスポーツ用品、高級車両の内装材など幅広い分野に世界中で採用されています。特に繊細なボールコントロールが求められるバレーボールは、多くの国際大会などで公式球として採用されています。また、その優れた機能と品質を評価され、近年では高級ブランドバッグなどファッション雑貨分野でも採用が拡大しています。世界のラグジュアリーブランド店が並ぶパリのシャンゼリゼ通りでも、〈クラリーノ〉を使用したハンドバッグなどを見つけることができます。

〈クラリーノ〉採用例





解決したい課題

—
ハイエンドな品質と
持続可能性の両立

クラレの答え

—
リサイクル原料を用いた
人工皮革で品質と
持続可能性を両立

● 中期経営計画「PASSION 2026」における戦略について教えてください。

私たちは、「PASSION 2026」において、サステナブル製品の販売拡大を目指し、〈クラリーノ〉の原料と製造・加工プロセスの両面から環境対応を推進しています。得意とするスポーツシューズ用途に向けては、リサイクルポリエステルやリサイクルナイロンなど環境配慮型原料を使った銘柄の提案を強化しています。また、製造においては、環境に配慮した革新的なプロセスを導入しています。従来の製法より、温室効果ガス（GHG）排出量を35%、水の使用量を70%、そして製造工程中の有機溶剤の使用量も99%以上削減しました。特に化学物質規制が強化されている欧米のお客さまを中心に、このプロセスで生産する商品のラインアップ拡充を進めています。

こうした〈クラリーノ〉の環境配慮の特性をご評価いただき採用が拡大しています。近年需要が高まっている電気自動車（EV）では、内装材の高級感と軽量性を両立する必要があり、人工皮革の強みが活かされています。そのほか、ハイブランド宝飾品の店頭ディスプレイボックスや什器といったユニークな用途や、欧米を中心に動物性素材を身に着けない人々に対応したビーガン素材としても近年伸長しています。

私たちは、引き続き環境に配慮した原料と製造プロセスへの転換を加速させ、社会やお客さまとともに、環境への取り組みを推進していきます。

● リサイクル原料を用いた環境配慮型〈クラリーノ〉について、もう少し詳しく教えてください。

〈クラリーノ〉のベースとなるマイクロファイバー不織布に、回収したポリエステルやナイロンを使用した製品です。リサイクル原料を用いながら、耐傷性、耐摩耗性、耐薬品性、良好な型押し加工性などの機能性を実現しており、環境への関心が高いお客さまからの引き合いが増えています。上記の特長に加え、皮革調素材としての柔らかさや風合いが評価され、ノートブックPCなどデジタルデバイスの天板やキックスタンドなどにも採用されています。

Web限定CM「広報担当 クラレちゃん」シリーズが始まりました。

本シリーズでは、「素材のアレコレ、頑張るクラレ」を合言葉に、クラレの広報担当に就任したアルパカのクラレちゃんが、身近にあるクラレの素材を広く知ってもらおうと奔走する姿を描いていきます。



詳しくは右記QRよりご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/watch?v=rvnDV2pjrM0>

個人投資家向けオンライン説明会のご案内

2024年9月21日（土）、ログミーファイナンスが主催する「個人投資家向けIRセミナー」に、当社IR・広報部長の滝沢が登壇します。皆様のご視聴を心よりお待ちしております。

■ 参加方法 ご参加にあたっては、下記URLより事前のご登録をお願いいたします。

事前登録（ログミーファイナンス事前登録ページ）
https://finance.logmi.jp/ir_live/586



「ランドセルは海を越えて」ドキュメンタリー動画を公開しました。

2004年以降続けてきた本活動は、2024年で21回目を迎えました。このたび、ランドセルを寄贈した日本の子どもの想いが、アフガニスタンの子どもに届くまでをドキュメンタリーとして記録しました。



詳しくは右記QRよりご覧いただけます。
<https://youtu.be/4k-Q11qQmHk>



「クラレレポート 2024」のご案内

すべてのステークホルダーの皆様へ、クラレグループの中長期的な価値創造について、財務情報に加え、ESG（環境・社会・ガバナンス）などの非財務情報の紹介を通じて、より一層理解を深めていただくことを主眼としたレポートです。



詳しくは右記QRよりご覧いただけます。
https://www.kuraray.co.jp/csr/report_backnumber



クラレは世界的なESG投資指数の構成銘柄に選定されています。



2024 CONSTITUENT MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数



各指標についての詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください <https://www.kuraray.co.jp/ir>



会社概要 / 株式情報 (2024年6月30日現在)

会社概要

社名 設立
株式会社クラレ 1926(大正15)年6月24日

英文社名 資本金
KURARAY CO., LTD. 890億円

本社所在地
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
TEL (03) 6701-1000 FAX (03) 6701-1005

ウェブサイト
<https://www.kuraray.co.jp/>

主な事業
樹脂、化学品、活性炭、歯科材料、繊維、その他

投資家向けページのご案内

当社ウェブサイト内の投資家向けページでは、決算情報の提供に加え、決算説明会や株主総会の模様の動画配信などタイムリーに情報を掲出しています。ぜひご覧ください。

 <https://www.kuraray.co.jp/ir>



クラレ

検索



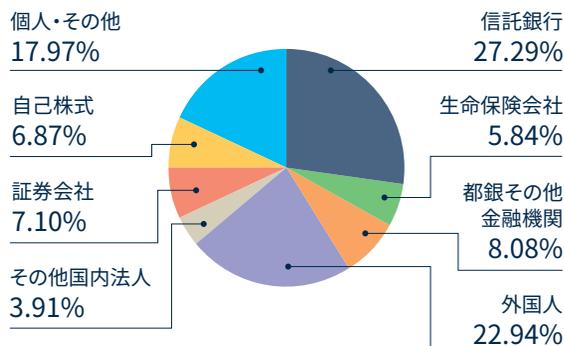
株式の状況

発行可能株式総数
1,000,000,000株

発行済株式の総数
354,863,603株 (自己株式24,365,792株を含む)

株主数
97,040名

株主構成(持株比率)



株式メモ

証券コード 3405
上場証券取引所 東京
単元株式数 100株
事業年度 1月1日から12月31日
定時株主総会 毎年3月開催
期末配当基準日 12月31日
中間配当基準日 6月30日
公告の方法 電子公告
<https://www.kuraray.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(受付時間:土・日・祝祭日を除く9時~17時)

③ 1.この冊子に記載した当社財務データはすべて連結ベースです。 2.この冊子に記載した億円単位の当社財務データ(実績値)は、億円未満を四捨五入して表示しています。
3.この冊子に記載の()を付した表記は、当社グループの商標または登録商標です。 4.この冊子に記載したQRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

